

## リフレッシュ理科教室決算報告書 (1/2)

2025年9月4日

公益社団法人 応用物理学会  
リフレッシュ理科教室 WG 代表者様

開催支部または分科会 (支部・分科会以外に共催がある場合はすべてお書きください) : 北陸・信越支部
開催責任者 (支部長または分科会幹事長) : 橋本 佳男
開催連絡責任者 : 栗原 一嘉 (福井大学)
連絡先 : 〒 910-8507 福井県福井市文京 3-9-1 Email : kuri@u-fukui.ac.jp TEL : 0776-27-8685

以下のとおりご報告いたします。

(全会場分の収支をまとめてご記載, もしくは会場毎収支のご記載, どちらでも問題ありません。  
会場毎収支をご報告の場合は当ページを会場数分複製の上, ご報告ください。  
対面実施形式とオンライン実施形式で報告書の様式が若干異なります。)

事業名 : リフレッシュ理科教室 － 身の回りの不思議を発見しよう－	
リフレッシュ理科教室補助金額 : 170,000 円	
開催日 : 2025年8月4日	
開催場所 : 福井大学 文京キャンパス アカデミアホール (福井県福井市文京 3-9-1)	
決 算 (収入合計と支出合計は同額になります) (単位 : 円)	
収 入	支 出
リフレッシュ理科教室補助金 170,000	印刷製本費 (資料・チラシ作成等) 0
参加費 0	賃借料 (会場費・プロジェクター等) 0
広告展示料 0	会議費 (弁当代等) 0
支部分科会からの支援金 0	通信運搬費 (郵送料等) 0
企業からの協賛金 0	消耗品費 (実験材料・文具代等) 170,000
助成金 (県・市など) 0	臨時雇賃金 【支払人数計 0名】 (アルバイト賃金等) 0
	諸謝金 【支払人数計 0名】 (講師謝礼等) 0
	システム利用料 (ZOOM, Webex 他) 0
	基金への返金 (or 支部・分科会への戻入れ)
合 計 170,000	合 計 170,000

決算報告書は, 支部 (分科会) 会計後 1 か月以内に 応物事務局 教育企画委員会担当宛へ  
各支部長・分科会幹事長に CC で共有の上メール添付 (WORD 形式) にてご提出ください (原本不要で  
す)。講師謝礼金やアルバイト代については, 支払人数を必ず記載してください。

## リフレッシュ理科教室実施報告書 (2/2) (対面実施形式)

以下のとおりご報告いたします。

<b>事業名</b> ：リフレッシュ理科教室 － 身の回りの不思議を発見しよう －
<b>開催日</b> ：2025年8月4日（月）
<b>開催場所</b> ：福井大学 文京キャンパス アカデミアホール（福井県福井市文京 3-9-1）
<b>参加者人数</b> ① 生徒・児童：高校生 2名，中学生 5名，小学生 0名 ② 保護者・一般：0名 ③ 教諭等：0名 ④ スタッフ等：9名 ※こちらには指導員やアルバイトの人数を記載ください。保険料の算出に使用します。
<b>内容</b> （委員会での検討や本部への報告書作成のため、各会場の特徴や工夫していることなどについてご記入下さい。） 例：各会場の運営や参加対象などの特徴、教員対象の講演会・講習会、教育委員会との連携、地方公共団体との協力、他の団体との協力など。また、補助金に対する要望事項、他支部でも参考になる事項、良かった点、悪かった点など ※ここに掲載する写真等は応用物理学会 HP に掲載しても良い内容でお願いいたします。 ※肖像権などにご配慮いただき、後ろから撮影した写真等をご利用ください。  ・ <b>各会場の運営や参加対象などの特徴</b> 副題「身の回りの不思議を発見しよう」に対して、演示・体験実験「ドローン飛行体験講座」の内容を実施した。特定グループの中高校科学部を対象としたため、高校生にも参加頂けた点が良かった。  ・ <b>教員対象の講演会・講習会</b> 特定グループとして中高校科学部生徒を対象としたので、部活顧問の教員にも参加頂く予定であったが、他の講習会に重なり、不参加となった。  ・ <b>地方公共団体との協力、他の団体との協力</b> 例年通り、特定グループの中高校科学部と協力して実施した。また、今回、事前準備に際して、福井大学教育学部技術科教員 1 名とドローンパイロット資格を有する民間企業人 2 名にアドバイスを受けながら予行演習を実施した。  ・ <b>補助金に対する要望事項</b> 次年度以降も補助金を継続的に支給して頂ければ、生徒に大変喜ばれる理科教室を実施できる。  ・ <b>他支部でも参考になる事項</b> 中高一貫校科学部を特定グループ対象としたリフレッシュ理科教室は、理科に興味がある生徒が多く、多少難しい内容でも実施できる点が優れている。  ・ <b>良かった点</b> 事前準備に際して、教育学部学生 5 人、教育学部技術科教員 1 名、民間企業人 2 名など多くの協力者を得て事前準備できた点が大変良かった。ドローン関連の購入、ドローン操縦指導、コート設営、ドローンサッカー試合など初めての事項が多く、多くの協力者なしでは実施できなかった。  ・ <b>悪かった点</b> 当日、他機関が実施する理科実験教室に参加する者が多かったため、特定グループの中高校科学部の参加者が少なかったのは残念であった。日程変更を試みたが会場の都合上、変更は適わなかつ

た。また、開催日程が大学での期末試験期間に重複し、学生スタッフの協力者がほとんど得られなかった。

## ホームページ掲載用報告書

北陸・信越支部の福井地区では、2020年度からリフレッシュ理科教室を再開し、今年度（2025年度）で再開後6回目となる。2020年度の再開時に新型コロナウイルス感染が始まり、感染拡大対策として特定グループを対象としたリフレッシュ理科教室を実施したことで、「特定グループ対象」が福井地区における特徴となっている。初回の2020年度は、中学校の科学部員だけを対象としていたが、中高一貫校であることを利用して、現在では、中学校だけでなく高校の科学部員にも対象を拡大し、高校生にもリフレッシュ理科教室に参加頂ける環境にある。

今年度も特定グループ（中高一貫校科学部）を対象としたリフレッシュ理科教室を実施した。今回の参加者は高校生2名（高2：2人）、中学生5名であった。参加者が例年の半分と少なかったのは、当日、他の科学実験教室が実施されたため、参加人数が二分されたためである。

実施内容は、演習・体験実験「ドローン飛行体験講座」である。ドローンは現在 STEAM 教育の教材の1つとして注目されている。本理科教室では、最初にドローンコート全員で組み立て、その後、コート内外でドローン飛行体験を実施した。飛行体験では、ドローンの仕組みを簡単に説明し、操作方法を体験学習し、ドローンサッカーでゲーム性を取り入れることにより操作性の向上を狙った。途中、電池交換や飛行不具合に対処することにより、ドローンの仕組みを自然と深く理解することも狙っている。

本理科教室の写真1～6に示す。当日は、教育学部学生1人にスタッフとして協力してもらった。最初の60分程度でコート作り（写真1～写真3）を実施し、10分程度の休憩を挟み、30分程度のドローン操縦練習を終えて30分程度のドローンサッカーを実施した（写真4～写真6）。最後には、全員で撤収作業を行った。写真からも見て取れるように、今回の理科教室では、個人プレーがほとんどでなく、全体で協力して理科教室を作り上げた点が大きな特徴と言えるだろう。

会場：福井大学 文京キャンパス アカデミーホール

日時：2025年8月4日（月）9:00～11:30



写真1 コート作りの様子



写真2 コート作りの様子

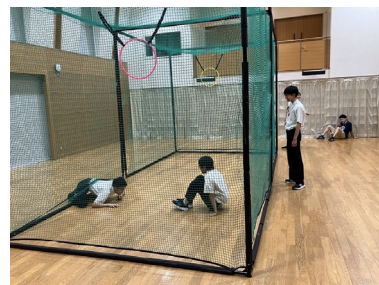


写真3 完成したドローンコート



写真4 ドローンサッカーの風景



写真5 ドローンサッカーの風景



写真6 ドローンサッカーの風景

実施報告書は、リフレッシュ理科教室開催後1か月以内に**応物事務局 教育企画委員会担当宛**まで各支部長・分科会幹事長に CC で共有の上メール添付（WORD 形式）にてご提出ください(原本不要です)。